

## 正誤表 学部・研究科等の現況調査表 (研究)

京都大学地域研究統合情報センター

	頁数・行数等	誤	正
2	36-7 頁・23 行以下	<p><b>災害対応の地域研究</b>：京都大学学術出版会から叢書「災害対応の地域研究」シリーズの刊行を継続している。また 2011 年 12 月のインドネシア・アチェ州における国際ワークショップの開催以来、毎年開催している京都＝アチェ「災害と社会」国際ワークショップ/や、スマホアプリによるスマトラ大津波の記憶を継承する取り組みについて高く評価されている（「天声人語」『朝日新聞』朝刊、2014 年 12 月 27 日付、同紙 2013 年 9 月 26 日付、『日本経済新聞』2014 年 1 月 7 日付、『Serambi Indonesia』2011 年 11 月 27 日付など）。</p> <p><b>1) 相関型地域研究</b>：とくに 2013 年ペルーで刊行の <i>América Latina en la era Posneoliberal</i>、2014 年イギリスで刊行の <i>Climate Change and Deforestation</i> で特集号が組まれた。</p> <p><b>2) 地域情報学</b>：論文数を着実に増やしており、2015 年度情報処理学会人文科学コンピュータシンポジウムでポスター賞を受賞する論文も発表されている（別添資料「11 地域情報学関連論文等」）。</p> <p><b>3) 地域研究に関わる情報支援システム</b>：地域情報学の展開のために開発した My データベース等を研究者コミュニティに還元している。</p>	<p><b>1) 災害対応の地域研究</b>：京都大学学術出版会から叢書「災害対応の地域研究」シリーズの刊行を継続している。また 2011 年 12 月のインドネシア・アチェ州における国際ワークショップの開催以来、毎年開催している京都＝アチェ「災害と社会」国際ワークショップ/や、スマホアプリによるスマトラ大津波の記憶を継承する取り組みについて高く評価されている（「天声人語」『朝日新聞』朝刊、2014 年 12 月 27 日付、同紙 2013 年 9 月 26 日付、『日本経済新聞』2014 年 1 月 7 日付、『Serambi Indonesia』2011 年 11 月 27 日付など）。</p> <p><b>2) 相関型地域研究</b>：とくに 2013 年ペルーで刊行の <i>América Latina en la era Posneoliberal</i>、2014 年イギリスで刊行の <i>Climate Change and Deforestation</i> で特集号が組まれた。</p> <p><b>3) 地域情報学</b>：論文数を着実に増やしており、2015 年度情報処理学会人文科学コンピュータシンポジウムでポスター賞を受賞する論文も発表されている（別添資料「11 地域情報学関連論文等」）。</p> <p><b>4) 地域研究に関わる情報支援システム</b>：地域情報学の展開のために開発した My データベース等を研究者コミュニティに還元している。</p>